

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】平成23年10月13日(2011.10.13)

【公開番号】特開2007-314524(P2007-314524A)

【公開日】平成19年12月6日(2007.12.6)

【年通号数】公開・登録公報2007-047

【出願番号】特願2007-115215(P2007-115215)

【国際特許分類】

A 6 1 K 8/22 (2006.01)

A 6 1 K 8/34 (2006.01)

A 6 1 K 8/88 (2006.01)

A 6 1 Q 5/08 (2006.01)

A 6 1 Q 5/10 (2006.01)

【F I】

A 6 1 K 8/22

A 6 1 K 8/34

A 6 1 K 8/88

A 6 1 Q 5/08

A 6 1 Q 5/10

【手続補正書】

【提出日】平成23年8月31日(2011.8.31)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

アルカリ剤を含有する第1剤、過酸化水素を含有する第2剤及び第1剤と第2剤の混合液を泡状に吐出するためのノンエアゾールタイプのフォーマー容器からなる2剤式染毛剤であって、混合液中に次の成分(A)及び(B)：

(A) 界面活性剤 1～15重量%

(B) 不揮発性親水性溶剤 0.1～5重量%

を含有し、成分(A)の成分(B)に対する重量比(成分(A)の含有量／成分(B)の含有量)が1～20である2剤式染毛剤。

【請求項2】

第1剤と第2剤の混合液中において、成分(A)として、次の(A1)～(A3)：

(A1) アニオン界面活性剤 0.01～14.8重量%

(A2) 両性界面活性剤 0.001～5重量%

(A3) 非イオン界面活性剤 0.1～14.8重量%

を含有する請求項1記載の2剤式染毛剤。

【請求項3】

更に成分(C)として、高級アルコールを第1剤と第2剤の混合液中に0.01～0.8重量%含有する請求項1又は2記載の2剤式染毛剤。

【請求項4】

更に成分(D)として、塩化ジメチルジアリルアンモニウム・アクリルアミド共重合体を第1剤と第2剤の混合液中に0.01～3重量%含有する請求項1～3のいずれかに記載の2剤式染毛剤。

【請求項 5】

更に成分(E)として、塩化ジメチルジアリルアンモニウム・アクリル酸共重合体を第1剤と第2剤の混合液中に0.01～0.5重量%含有する請求項1～4のいずれかに記載の2剤式染毛剤。

【請求項 6】

請求項1～5のいずれかに記載の2剤式染毛剤を用いた染毛方法であって、ノンエアゾールタイプのフォーマー容器内で第1剤と第2剤を混合した後、混合液を当該容器から泡状に吐出し、手を使って毛髪に塗布した後、3～60分間放置し、洗い流す染毛方法。